

## 2026年度 大島地区中学校総合体育大会 軟式野球競技大会要項

- 1 **大会名** 大島地区中学校総合体育大会軟式野球競技大会（兼県大会予選）
- 2 **主催** 大島地区中学校体育連盟
- 3 **共催** 大島教育事務所
- 4 **主管** 大島地区中学校軟式野球専門部
- 5 **協賛** マルエス株式会社，ナガセケンコー株式会社
- 6 **期日** 令和8年6月9日（火）～11日（木） ※予備日12日（金）
- 7 **日程** 6月 9日（火）・10日（水）・11日（木） 競技開始 9：00～  
11日（木） 表彰式 決勝戦終了後
- 8 **会場** 『奄美川商球場，龍郷町中央運動公園』
- 9 **参加資格**
  - (1) 参加選手は，大島地区中体連加盟の学校に在学し，学校教育法に基づく当該中学校生徒であること。
  - (2) 部活動に籍をおき，練習に参加し，該当中学校長が大会出場を認めた生徒であること。
  - (3) 単一校のチームであり，当該中学校長が参加を認めていること。  
※ 参加資格の特例を認める。〔県中学校総合体育大会開催基準7-(3)複数合同チーム〕
  - (4) 参加資格の特例を認める。〔県中学校総合体育大会開催基準7-(8)地域クラブ活動〕
  - (5) 県大会出場資格を得た場合に，出場できるチーム・選手であること。
  - (6) 引率は，該当校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は，当該校の学校職員・部活動指導員とする。外部指導者は，校長の認めた者とする。但し，中学校職員は，外部指導者にはなれない。また，同一人物が複数校の外部指導者にはなれない。
- 10 **参加制限**
  - (1) チーム編成は，監督1名，選手25名以内（スコアラーを含む）とする。また，この他に該当校の学校職員をコーチとして2名追加することができる。ただし，外部指導者（コーチ）が入る場合は1名とし，28名以内とする。なお，監督は背番号「30」をつけるものとする。コーチがユニフォーム着用の際は，背番号「29」「28」をつけなければならない。
  - (2) 外部コーチについては所定の手続きを行う。〔県中学校総合体育大会開催基準7-(7)〕
  - (3) 大島地区中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者，監督，コーチ等は，部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等（以下「暴力等」）により，任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して，大会参加申込書を作成する。なお，外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- 11 **参加料等** 参加料は，登録人数×800円とし，1日目の受付時に納入する。  
併せて，パンフレット代（登録人数×300円）も同様に納入する。
- 12 **競技方法** 全試合トーナメント方式とする。

- 13 抽選方法** (1) 5月8(金)14:00より、大島地区中体連理事立会のもとで行う。  
場所：金久中学校  
(2) 抽選会に参加希望する監督は出席してもよい。  
(3) 一回戦は、北大島と南大島の対戦となるように配慮する。
- 14 シード権** (1) 北大島地区2チーム、南大島地区2チーム(計4チーム)をシードとする。  
ただし、(北1,南2)、(南1,北2)の形で組み合わせをする。  
(2) 北大島地区のシード権について  
北大島地区は県春季選抜野球大会北大島予選を含む県予選大会において、優勝チームを5ポイント、準優勝チームを2ポイントとし、合計ポイント上位2チームをシードとする。合同チームが解散した場合は、そのチームのポイントを均等に分ける。  
(3) 南大島地区は春季南大島予選の優勝チームと準優勝チームをシードとする。シード権を獲得したチームが合同チームを新たに編成したり、解消したりした場合は、当該チームのシード権を無効とし、順次シード順を繰り上げる。その際生じるシードの空きについては、優勝チームに敗退したチームを繰り上げる。(準優勝したチームに敗退したチームは次シード候補になる。)
- 15 大会規則** (1) 公認野球規則並びに2026年競技者必携及び本大会特別規定による。  
(2) 試合は7回までとする。  
(3) コールドゲームは、5回以降7点差とする。決勝戦もコールドを適用する。  
7回を終了し、同点の場合は勝敗を決するまでタイブレーク方式を行う。継続打順で、前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者とする。すなわち、無死1,2塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返す。なお、選手の交代は許される。決勝戦は9回までに決定しない場合は両チーム優勝とし、県大会の代表出場順は、最終出場者9名全員による抽選とする。決勝戦以外は、勝敗が決定するまでこれを継続する。また、天候その他で試合続行不可能な場合は、5回をもって正式試合とする。  
(4) 背番号は1番~25番までとし、原則としてポジション順とする。
- 16 試合球及び器具** (1) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認M号球(マルエスボール、ナガセケンコー)とする。  
(2) 使用する器具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用する。
- 17 抽選会** 5月8日(金)14:00~ 金久中学校
- 18 代表者会** 当日各会場にて 8:00~
- 19 表彰式** 表彰式 6月11日(木) 決勝戦終了後  
奄美川商球場  
(1) 決勝進出2チームの参加とする。  
(2) 表彰式次第等、詳細については事前に確認する。
- 20 申込方法** 下記のとおりとする【代表チーム、処理事項】  
(1) 出場チームは、大島地区中体連ホームページより、申込書をダウンロードし、必要事項を記入し、地区軟式野球専門部長に5月7日(木)までにメールにて提出すること。締め切り以後は受け付けない。  
また、(1)の申込書データ及びプログラム用チーム写真データは、小宿中学校(久留宛)にメールで送信すること。

21 申込先 (申込書) E-mail [trkwr199689@gmail.com](mailto:trkwr199689@gmail.com) 鶴川 諒太 宛  
(データ等) E-mail [koshuku-j@city.amami.kagoshima.jp](mailto:koshuku-j@city.amami.kagoshima.jp) 久留 廣輔 宛

22 表彰 (1) 優勝チームに賞状、優勝旗、2位チームに賞状、準優勝旗、3位チームに賞状を授与する。

### 23 競技に関する事項 (大会特別規定)

- (1) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。(決勝戦については、準決勝2試合目の勝利チームは、そのままベンチを変えないこともある)
- (2) シートノックは行わず、サイドノックとする。ノックする場合は、背番号をつけない補助員5名(ヘルメット着用)を認める(ノッカーは必ずユニフォームを着用する)。
- (3) 出場チームは、背番号をつける。原則として(1投手~25)
- (4) 審判員の宣告に異議を申し出ることには許されない。ただし、規則上の疑義について、監督がアピールすることができる。
- (5) 正式試合成立前に、降雨等により試合続行が不可能な場合は、翌日中断したところから試合を再開するものとする。
- (6) 前試合が、コールドゲーム等で予定時刻よりも早く終了した場合でも、引き続きサイドノックを実施し、試合を進行する。ただし、同一チームが続けて試合を行う場合は、最高40分間の休憩後試合を行う。
- (7) 試合中の不必要なタイムは認めない(原則として30秒以内)。メガホンは1個とする(監督使用)。かくし球はしてはならない。
- (8) マスコットバット、鉄棒等、リストバンド、バットリング、滑り止めスプレー、リストガードはベンチに入れない。
- (9) 第1試合及び同一チームが連続して行う試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始時刻の40分前とし、その他の試合については、前の試合4回終了時とする。各チームの監督と主将は、本部へメンバー表4部(ふりがなをつける)を提出し、攻守を決める。またその際にケガ等でテーピングなどの処置をする選手は審判に申し出る。
- (10) 試合開始、終了のあいさつは、選手・部長・監督等は、ベンチ前に整列して同時にあいさつを交換する(相手ベンチ前のあいさつはしない)。
- (11) 遠征中・大会中(練習・試合を含む)のけが等については、各学校で対応すること。
- (12) 投手の投球制限について  
投手の投球数は、1日100球、大会期間中は350球までとする。(タイブレーク方式も含める)ただし、投球数が100球に達した打者までは、100球を超えて投球してもよい。また、大会期間中に350球に達した打者までは、350球を超えて投球してもよい。なお、天候不良により、片方は1試合、片方は2試合と試合数に不平等性が生じた場合は、お互いの条件を揃えるために、前日の試合の球数を持ち越すこともある。

#### (13) タイムの制限について

- ① 監督が、同一イニングに同一投手のところへ、2度行くか、行ったと見なされた場合(伝令を使うか、捕手または他の選手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合)は、投手は自動的に退かなければならない。ただし、他の守備位置につくことは許される。
- ② 監督が1試合に投手のところへ行ける回数は3回以内とする。タイブレークとなった場合は、2イニングに1回行くことができる。
- ③ 捕手または内野手が、1試合に投手のところへ行ける回数は3回以内とする。タイブレークとなった場合は、2イニングに1回行くことができる。
- ④ 攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。タイブレークとなった場合は、2イニングに1回とることができる。
- ⑤ 守備側のタイム中に攻撃側が、攻撃側のタイム中に守備側が、それぞれ指示を与えることができるが、守備側、攻撃側のタイムより長引けば、1回とカウントされる。
- ⑥ 試合進行や大会運営を円滑に行うために、無用なタイムは慎む。

- (14) 正式な球場以外の会場では、各会場の特別規定（グラウンドルール）を適用する。
- (15) 投手が捕手のサインを見る時は、必ず軸足をピッチャープレートにつけて見る。
- (16) 捕手は、ヘルメット・レガース・プロテクター・スロートガード（一体型可）・ファールカップを使用する。
- (17) 公認バット以外の使用は認めない（複合バットの使用を認める。※JSBBがあれば可能）。
- (18) 木製バットを入れることは義務づけない（雷がなったら試合を中断する）。
- (19) 両耳ヘルメットの着帽を義務づける（打者・次打者・走者・ランナーズコーチ）
- (20) 選手は、試合進行の妨げとならないよう配慮する（打者はボックス内でサインを見ること。捕手は野手に声をかけるとき、ホームプレートの前に出ない）。
- (21) 手袋の使用を攻守共に認めるが、投手については認めない。ただし、白または黒の単一色とし、パット入りやリストバンド付のものは認めない。アームスリーブは、テーピングと同じ扱いとし、試合前に相手チーム・審判に申し出た上で、メーカーのロゴが見えないように着用する。
- (22) 監督のユニフォームは生徒と同色・同型・同着とし、シューズは生徒のスパイクと同色でなくてもよい。また、サングラスの着用は認めない。  
※ スパイクの色は単色（黒・白）であれば混在しても良い。

## 24 その他

- (1) 大会運営上、生徒引率及び監督の学校職員に審判及大会運営をお願いすることがある。
- (2) 上位2チームが7月に行われる鹿児島県中学校総合体育大会に出場することができる。
- (3) 地区総体の開催される期間は、梅雨の時期であるが、ケガの防止やできる限り良い環境で選手にプレーをさせたいとの観点から、雨天により順延を余儀なくされることもある。
- (4) 県総体への出場枠（2026年度は2校）を決めることに重点を置いて、運営を行うものとする。よって、最終日以外は1日1試合の予定だが、天候次第で1日2試合もある。
- (5) 順延の程度によっては、決勝を行わない。順位については、両チーム背番号1～9番による抽選で決定する。状況によっては、主将または監督がこれを行う。
- (6) 全日本少年の全国大会との兼ね合いを考慮し、優勝チームまたは乱天候のため抽選で1位となったチームに敗れた3位のチームを補欠校とする。
- (7) 今年度は奄美大島開催、2027年度は徳之島開催、以降隔年で開催する。

## 25 連絡先

大島地区中学校体育連盟 軟式野球専門部長 鶴川 諒太 〒894-0015 鹿児島県奄美市名瀬市名瀬真名津町 14-1 番地 名瀬中学校 TEL 0997-52-0168 FAX 0997-52-4566
--